

キラリ 一言

新市・議会に対する意見など
それぞれの思いを語っていただきました



市民参加の 「仕組み」と「仕掛け」

朝地町池田
森 誠 一

平成17年11月13日、9時から15時までの6時間。「第1回朝地ふれあい体育祭」に参加した千人以上の市民は、地域に新しいスポーツ行事が生まれたような新鮮な印象を受けました。

合併以前にも「町民体育祭」として20回以上実施されてきた行事ですが、本年は「地区スポーツ振興会」の企画で実施されました。中学生がボランティアスタッフとして加わり、高齢の方でも参加できる種目を増やすなど市民のアイデアがたくさん盛り込まれたイベントでした。

「住民参画」と一言で表現してもその実現がなかなか難しいと悲観的に考えがちですが、私たち市民には地域の暮らしをより良くしていこうとする際に障害となる事象に対して「なぜできないか」、「どこに問題があるのか」を分析し、「できる仕組みづくり」のための提案をすることが求められていると思います。

しかし、市政に地域の意見を反映させるための「仕組み」や「仕掛け」は今充分でしょうか？



「地方の時代」を再考

緒方町知田

森岡 雄 平

先日、集落営農の説明会に出席した。数年後には米が一俵一万円を切るかも知れない。先輩農家の心の底からの言葉を聞いた。「国の言われるまま従ってきた我々は、一体何であったのか」と。

来年度から高校が統一され、工業高校、農業高校など特殊な高校もなくなり、地域の高校がなくなることで、遠くまで通学しなくてはいけなくなる。少子化と財政難ゆえの学校統合なのでしょうか。これから世の中へ子どもたちを送っていく立場として、子どもたちにさまざまな夢を育てる教育を受けさせてやりたい。そのための家計の不安もある。

地方の時代といわれた時もあった。しかし、相変わらず上からのルールに乗せられるしかないような気がする。

新しい市になった今、新たに力を合わせて、独自の文化を築いていけるように先導をしていただきたい。



調子を合わせて、イチ、ニ！イチ、ニ！
(朝地ふれあい体育祭)

◇3月定例会は
3月7日(火)に
開会予定です。

詳しくは議会事務局
(TEL22-1001)へ
お問い合わせください。

委員 長	高山 豊吉
副委員 長	赤嶺 謙二
委員	安藤 健作
委員	小野 豊
委員	野藤 豊
委員	藤野 豊
委員	小野 豊
委員	野藤 豊
委員	野藤 豊
委員	野藤 豊

広報編集
特別委員会

里帰り

幾つになっても 子は子ども
傘寿すぎても 気をつかう
酒はほどほど タバコはやめろ
逢えばいつもの お説教
それが嬉しい 里帰り

散歩がてらに 古里の
表に出れば なつかしい
となり近所のおばちゃん達と
昔ばなしに 花が咲く
それが楽しい 里帰り

休暇も終わり 別れの日
痛む両足 踏んばって
来年もまた 帰って来いと
見送る親の 瘦せた顔
それが気になる 里帰り

※今年も正月には、ふるさと
に多くの人が帰ってきました。
た。こんな気持ちで、また
都会へと旅立った人たちも
いたのでは。(A)